

5. 造礁サンゴ類

5. 造礁サンゴ類

ほとんどのサンゴは、水中で岩にしっかりとくっついて暮らしています。泡瀬では、海草藻場の沖合に所々岩盤が広がり、このような比較的海水のきれいな場所や潮通しの良い場所ではハナヤサイサンゴ、ショウガサンゴ、エダコモンサンゴ等の樹枝状のものやトゲイボサンゴ、ルリサンゴ等の被覆状のもの等、多くのサンゴがみられます。また、海草藻場に混じって枝状ミドリイシの群生がみられる場所もあります。

サンゴは形や大きさもさまざまで、色も変化に富んでおり、サンゴ礁の水中景観を作り出す大切な役割を果たしています。サンゴは、すべての種類が石灰質の骨をもっていますが、骨には関節がないために体を曲げることができません。そのため、強い力が加わると折れてしまいます。さまざまなサンゴが棲んでいる場所では、サンゴによって岩の上にはいろいろな形や大きさのすきまがたくさん作られており、そのすきまが魚をはじめとして多くの動物たちのすみかやかくれ家として使われています。陸上では、樹木が森や林を作って多くの動物の暮らしを支えているように、サンゴ礁の海では、サンゴは多くの動物の暮らしも支えている大切な動物なのです。

多くのサンゴが、初夏の大潮のころの夜、いっせいに産卵することはよく知られています。サンゴは、オニヒトデやシロレイシガイダマシに食べられたり、異常に海水温度が高くなった場合に白化して死んだり、病気で死んだり、台風の大波や人間によって壊されたりすることがありますが、健全なサンゴ礁ではどの季節でも美しいサンゴの森がみられます。

5. 造礁サンゴ類



ムカシサンゴ

イシサンゴ目 ムカシサンゴ科

Stylocoeniella guentheri

特徴: 固着性で、群体のところどころがコブ状に盛り上がる。ポリプは1mm程度で極めて小さく、群体の表面には微小な棘が密生している。色彩は変化に富み、昼はあまり触手を伸ばさない。

分布: 紀伊半島南部の広い海域に分布する。あまり多くない。

サンゴ類



ハナヤサイサンゴ

イシサンゴ目 ヤサイサンゴ科

Pocillopora damicornis

特徴: 固着性で小型のカリフラワーのような形状のサンゴ。色彩は変化に富み、環境の違いによって群体の形状が変化する。枝の間にはサンゴガニやサンゴテッポウエビなどが棲み、枝先にはカニこぶができることが多い。

分布: 四国以南の海域に広く分布する普通種。

サンゴ類



ショウガサンゴ

イシサンゴ目 ヤサイサンゴ科

Stylophora pistillata

特徴: 数回枝分かれする樹枝状の固着性群体で、全体的にやや半球形になる。色彩は変化に富み、枝の先端部にサンゴヤドリガニがカニこぶを作って棲んでいることが多い。昼でも触手を伸ばすことが多い。

分布: 四国以南の海域に広く分布する普通種。

サンゴ類



エダコモンサンゴ

イシサンゴ目 ミドリイシ科

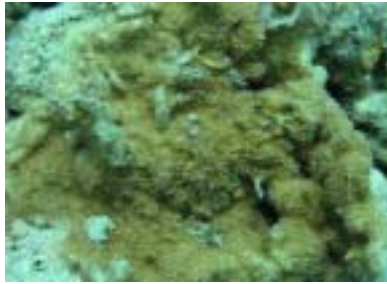
Montipora digitata

特徴: 固着性の樹枝状群体で、枝は何回も分枝し、概形は半球形になることが多い。枝の表面はスムーズで、突起や棘はみられない。色彩は主に褐色や暗緑褐色で、枝先は色が淡いことが多い。

分布: 奄美以南のサンゴ礁海域に広く分布する普通種。

サンゴ類

5. 造礁サンゴ類



ナリコモンサンゴ

イシサンゴ目 ミドリイシ科

Montipora informis

特徴: 岩盤を被覆して成長する固着性のサンゴで、群体表面に突出部がみられることもある。褐色や緑褐色など色彩変異に富む。表面には先端の色が淡い小さな棘が密生し、ざらざらした感じになる。

分布: 紀伊半島以南の海域に広く分布する普通種。

サンゴ類



コユビミドリイシ

イシサンゴ目 ミドリイシ科

Acropora digitifera

特徴: あまり枝分かれしない指状の枝を持つコリンボース型群体で、基部は岩盤に強く固着する。被覆状になることもある。放射ポリプは大きさがほぼそろっており、中軸ポリプはあまり突出しない。色彩は変化に富むが淡褐色が多い。

分布: 九州以南の海域に広く分布する普通種。

サンゴ類



コエダミドリイシ

イシサンゴ目 ミドリイシ科

Acropora microphthalmia

特徴: 固着性で小型の枝状群体。細い枝から小枝が不規則に枝分かれし、放射ポリプは細長く伸びる。中軸ポリプはやや突出している。色彩は淡褐色が多く、青みがかかる場合もある。波当りの弱い静かな環境に多い。

分布: 奄美以南のサンゴ礁海域に広く分布する普通種。

サンゴ類



ヒメマツミドリイシ

イシサンゴ目 ミドリイシ科

Acropora aspera

特徴: 固着性の樹枝状群体で、枝はやや太め。中軸ポリプは大きく、やや突出している。放射ポリプは大小あり、大きなポリプが枝の回りにやや鱗状に見える。色彩は褐色や淡褐色が多いが、変化に富む。大きな群落を作ることが多い。

分布: 紀伊半島違反の海域に広く分布する普通種。

サンゴ類

5. 造礁サンゴ類



ハイマツミドリイシ

イシサンゴ目 ミドリイシ科

Acropora millepora

特徴: 固着性でほぼ円形のコリンボース型の群体で、枝は内部ではやや内側に反る。中軸ポリプは大きいあまり突出しない。放射ポリプは枝全面を被って密に配列し、枝を真上からみるとロゼット状に見える。

分布: 奄美以南のサンゴ礁海域に広く分布する普通種。

サンゴ
礁



ウスエダミドリイシ

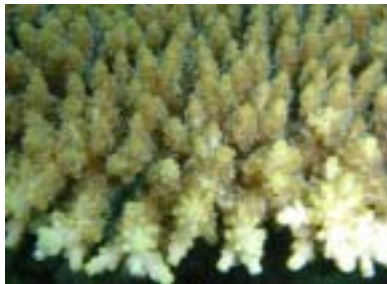
イシサンゴ目 ミドリイシ科

Acropora tenuis

特徴: 固着性でハイマツミドリイシに似てほぼ円形のコリンボース型の群体が多い。中軸ポリプは小さく、やや突出する。放射ポリプは横に張り出し、枝を真上からみるとロゼット状に見える。

分布: 奄美以南のサンゴ礁海域に広く分布する普通種。

サンゴ
礁



ハナバチミドリイシ

イシサンゴ目 ミドリイシ科

Acropora cytherea

特徴: テーブル状群体で、直径1m以上になる。横枝が網目状になり、群体内側で小枝が上向きに、周縁部で横向きに張り出す。小枝は枝分かれすることが多い。中軸ポリプは大きく突出する。昼も触手を伸ばす。

分布: 奄美以南のサンゴ礁海域に広く分布する普通種。

サンゴ
礁



ハナガサミドリイシ

イシサンゴ目 ミドリイシ科

Acropora nasuta

特徴: コリンボース型の固着性群体。色彩は褐色～淡褐色が多く、枝の枝の先端部は淡色になるが、ピンクや青くなる場合もある。昼でもわずかに触手を伸ばす場合がある。

分布: 奄美以南の海域に広く分布する普通種。

サンゴ
礁

5. 造礁サンゴ類



クシハダミドリイシ

イシサンゴ目 ミドリイシ科

Acropora hyacinthus

特徴: テーブル状群体で、大きいもので直径2m以上になる。横枝が網目状に融合し、多数の小枝を出す。中軸ポリブは突出せず、放射ポリブが整然と枝を取り囲み、ロゼット状になる。

分布: 紀伊半島以南の広い海域に分布する普通種。

サンゴ類



サボテンミドリイシ

イシサンゴ目 ミドリイシ科

Acropora florida

特徴: 強固な骨格の固着性群体でテーブル状や幅広い枝状になる。小枝は太く短く、中軸ポリブは大きく、あまり突出しない。色彩は淡褐色または緑色で、中軸ポリブは褐色になることが多い。

分布: 紀伊半島以南の海域に広く分布する普通種。

サンゴ類



アナサンゴ

イシサンゴ目 ミドリイシ科

Astreopora myriophthalma

特徴: 固着性の半球形～被覆状の群体で、大きなポリブが表面を被っている。ポリブの側面には多数の細かい突起が並んでいる。色彩は褐色や淡褐色が多く、さまざまな色彩のものがある。

分布: 四国以南の広い海域に分布する普通種。

サンゴ類



コブハマサンゴ

イシサンゴ目 ハマサンゴ科

Porites lutea

特徴: 固着性の塊状群体で、表面がコブ状に盛り上がる。ポリブは1.5mm程度で小さく、群体表面に隙間なく並んでいる。色彩は淡褐色や黄褐色が多く、昼もわずかに触手を伸ばす。類似の種が多く、区別が難しい。

分布: 四国以南の広い海域に分布する。

サンゴ類

5. 造礁サンゴ類



ユビエダハマサンゴ

イシサンゴ目 ハマサンゴ科

Porites cylindrica

特徴: 固着性の枝状群体で、枝の表面はスムーズで、小さなポリプが密に配列している。群体の概形は半球形で、直径数mに成長する。色彩は淡褐色や緑、黄色など変異に富む。大きな群落を作ることが多い。

分布: 四国以南の海域に広く分布する普通種。

サンゴ
種



ベニハマサンゴ

イシサンゴ目 ハマサンゴ科

Porites lichen

特徴: 固着性で、塊状や被覆状の群体で、群体縁辺は葉状に張り出すことが多く、表面は凸凹感がある。昼もわずかに触手を伸ばしている。色彩は褐色や緑、黄色など変異が大きい。

分布: 種子島以南の海域に広く分布する普通種。

サンゴ
種



ヤスリアミメサンゴ

イシサンゴ目 ヤスリサンゴ科

Psammocora digitata

特徴: 固着性群体で、強固な被覆状基盤から多数の柱状の突起がでることが多いが、塊状になることもある。柱状突起の先端は広く丸みがある。ポリプは小さくて浅く、隔壁が花弁状に並ぶ。淡褐色の群体が多い。

分布: 奄美以南のサンゴ礁海域に広く分布する。あまり多くない。

サンゴ
種



ヤスリサンゴ

イシサンゴ目 ヤスリサンゴ科

Coscinaraea columna

特徴: 固着性の被覆状群体で、厚く盛り上がって半塊状になり、周縁部が板状に張り出すことが多い。群体全面にほぼ均一の幅の嶺が網目状に走り、その間に数個までのポリプがみられる。

分布: 伊豆半島以南の広い海域に分布する。あまり多くない。

サンゴ
種

5. 造礁サンゴ類



シワシコロサンゴ

イシサンゴ目 ヒラフキサンゴ科

Pavona varians

特徴: 固着性の被覆性～準塊状の群体で、ところどころで盛り上がる。群体表面はやや広めの嶺が不規則に走り、その間にポリプが並ぶ。色彩は黄色～褐色が多い。昼でもわずかに触手がみられることが多い。

分布: 種子島以南の海域に広く分布する普通種。館山でも観察されている。

サンゴ
種



シワリュウモンサンゴ

イシサンゴ目 ヒラフキサンゴ科

Pachyseris rugosa

特徴: 固着性で被覆性の群体で、中央部に多数の柱状の突出がみられ、縁辺部は葉状に張り出すことが多い。群体表面は長短さまざまな嶺が不規則に走り、窪みには嶺に直角の隔壁が密に並んでいる。

分布: 奄美以南のサンゴ礁海域に広く分布する。やや普通にみられる。

サンゴ
種



ヒラタクサピライシ

イシサンゴ目 クサピライシ科

Fungia concinna

特徴: 成長すると非固着性になるほぼ円形の単体サンゴ。隔壁が小さな口から周縁部に向かってほぼまっすぐに伸びる。隔壁の縁には小さな歯が密に並ぶが、小さくて肉にかくれて目立たない。昼は触手を伸ばさない。

分布: 奄美以南のサンゴ礁海域に広く分布する普通種。

サンゴ
種



キュウリイシ

イシサンゴ目 クサピライシ科

Herpolitha limax

特徴: 非固着性で、中央の横に走る窪みに多くの口が並ぶ群体サンゴ。細長く、尖端は丸まり、表面が盛り上がり裏面が窪む。表面には途中で切れる多数の隔壁が密生する。昼は触手を伸ばさない。

分布: 奄美以南のサンゴ礁海域に広く分布する普通種。

サンゴ
種

5. 造礁サンゴ類



ミナミカワラサンゴ

イシサンゴ目 クサビライシ科

Lithophyllon lobata

特徴: 茸状の岩盤を被覆するように固着するサンゴで、大きくなると多くの口を持つようになる。小型個体は口が一つで、固着性のため縁辺が不規則な形になることが多い。色彩は主に黄褐色で、昼は触手を伸ばささない。

分布: 奄美以南のサンゴ礁海域に広く分布する。あまり多くない。

サンゴ類



アザミサンゴ

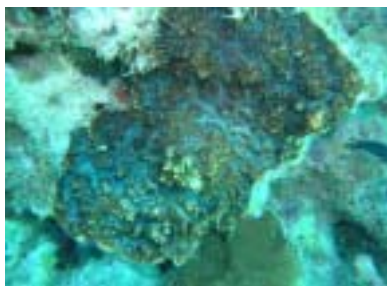
イシサンゴ目 ビワガラライシ科

Galaxea fascicularis

特徴: 固着性のほぼ塊状の群体で、鋭くとがった隔壁が多数備わったポリプが隙間なく並んで群体を被っている。色彩は変化に富んで美しく、昼でも二段になった触手をやや伸ばしていることが多い。

分布: 四国以南の広い海域に分布する普通種。

サンゴ類



キッカサンゴ

イシサンゴ目 ウミバラ科

Echinophyllia aspera

特徴: 岩盤を被覆する固着性群体で、表面には多くの突起がある。群体周縁部は葉状に張り出し、肋の走りがよく分かる。褐色や緑褐色、まだら模様など変化に富み、ポリプは色が異なることが多い。昼は触手を伸ばさない。

分布: 房総半島以南の海域に広く分布する。やや普通にみられる。

サンゴ類



マルハナガタサンゴ

イシサンゴ目 オオトゲサンゴ科

Lobophyllia corymbosa

特徴: 固着性の半球形の頑丈な群体で、直径約2cm程度の大きなポリプが並ぶ。肉厚であるが、隔壁の鋸歯状の突起が、表面からもよくわかる。暗緑褐色や黄褐色などいろいろで、口の部分は色が異なることが多い。昼は触手を伸ばさない。

分布: 種子島以南のサンゴ礁海域に広く分布する普通種。

サンゴ類

5. 造礁サンゴ類



ホソダイノウサンゴ

イシサンゴ目 オオトゲサンゴ科

Symphyllia recta

特徴: 固着性の半球形の頑丈な群体で、曲がりくねったうねが表面を被っている。嶺と嶺は接して隙間はない。谷の幅は1.5cmほどで、この仲間では小さい。褐色や暗緑褐色など変異に富む。昼は触手を伸ばさない。

分布: 四国以南の広い海域に分布するが、あまり多くない。

サンゴ類



サザナミサンゴ

イシサンゴ目 サザナミサンゴ科

Merulina ampliata

特徴: 固着性の葉状群体で、大きいものでは不規則に突出する部分がある。表面は比較的規則的に並ぶ細かい波状の嶺が走っており、谷にはポリプが並ぶが昼は触手を伸ばさない。色は淡褐色や淡緑褐色など。

分布: 種子島以南のサンゴ礁海域に広く分布し、やや普通にみられる。

サンゴ類



トゲイボサンゴ

イシサンゴ目 サザナミサンゴ科

Hydonophora exesa

特徴: 岩盤を被覆する固着性の群体で、一部が盛り上がったり、柱状に突出する部分もある。表面全体を円錐あるいは細長いいぼ状の突起が被う。色彩は緑や褐色など変異が多く、昼間でも触手をやや伸ばすことが多い。

分布: 房総半島以南の海域に広く分布するが、あまり多くない。

サンゴ類



キクメイシ

イシサンゴ目 キクメイシ科

Favia speciosa

特徴: 固着性の半球形から盤状の群体で、円形～楕円形のポリプが並ぶ。隔壁は多く規則的に配列し、あまり突出しない。色彩は淡褐色、緑褐色など変異に富む。ポリプの色が周囲と異なることも多い。昼は触手を伸ばさない。

分布: 房総半島以南の広い海域に分布するが、あまり多くない。

サンゴ類

5. 造礁サンゴ類



スポミキクメイシ

イシサンゴ目 キクメイシ科

Favia fava

特徴: 固着性の半球形から盤状の群体で、円形～楕円形のポリプがやや離れて並ぶ。隔壁はあまり突出しない。褐色や暗緑色など変異に富み、ポリプの色が周囲と異なることも多い。昼は触手を伸ばさない。

分布: 紀伊半島以南の海域に広く分布する普通種。

サンゴ類



バラバットサンゴ

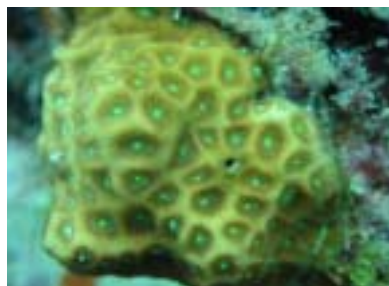
イシサンゴ目 キクメイシ科

Barabattoia amicum

特徴: 固着性の半球形の群体で、円形のポリプがよく突出して、時に円筒形になる。突出が弱い場合はキクメイシ類と区別が難しい。色彩は黄褐色が多いが、緑やピンクがかかることもある。昼は触手を伸ばさない。

分布: 紀伊半島以南の海域に広く分布するが、あまり多くない。

サンゴ類



カメノコククメイシ

イシサンゴ目 キクメイシ科

Favites abdita

特徴: 固着性の塊状や盤状の群体で、表面は凹凸になり、やや角ばったポリプが互いに接して並ぶ。隔壁は整然と並び、よく発達した鋸歯が表面からもみえる。褐色でポリプが緑のものが多い。昼は触手を伸ばさない。

分布: 伊豆半島以南の広い海域に分布する普通種。

サンゴ類



マルカメノコククメイシ

イシサンゴ目 キクメイシ科

Favites halicora

特徴: 固着性の塊状や盤状の周縁の不規則な群体で、表面も極めて複雑な凹凸になり、ポリプは互いに接してさまざまな方向へ向いている。色彩は淡褐色や暗緑褐色など変異に富む。昼は触手を伸ばさない。

分布: 沖縄以南のサンゴ礁海域で普通にみられる。

サンゴ類

5. 造礁サンゴ類



ヒメウネカメノコクメイシ

イシサンゴ目 キクメイシ科

Goniastrea favulus

特徴: 固着性の塊状サンゴで、半球形になることが多い。色彩は褐色や黄褐色のものが多い。短いうねが群体の表面を被い、窪みは緑色になることもある。窪みには1~数個の口がある。昼はポリプを伸ばさない。

分布: 伊豆以南の海域に広く分布するが、あまり多くないようである。

サンゴ類



コカメノコクメイシ

イシサンゴ目 キクメイシ科

Goniastrea pectinata

特徴: 固着性の準塊状~被覆状の群体で、周縁は不規則、表面も不規則な凹凸がある。色彩は透明感があり、淡緑褐色やピンクがかかったものなど変異に富み、ポリプの色が異なることが多い。昼は触手を伸ばさない。

分布: 四国以南の広い海域に分布し、普通にみられる。

サンゴ類



リュウキュウノウサンゴ

イシサンゴ目 キクメイシ科

Platygyra ryukyuensis

特徴: 固着性の半球形群体で、群体表面はスムーズな場合が多い。複雑に曲がりくねった嶺が走り、短く区切られた谷が表面全体を隙間なく被っている。色彩は褐色が多いが、緑褐色のものもある。昼は触手を伸ばさない。

分布: 奄美以南のサンゴ礁海域に広く分布するが、あまり多くない。

サンゴ類



ナガレサンゴ

イシサンゴ目 キクメイシ科

Leptoria phrygia

特徴: 固着性の複雑な凹凸のある塊状群体で、表面はわずかに波打つ。表面には不規則に走る幅の整った嶺が隙間なく走り、さまざまな長さの谷がみられる。色彩は黄褐色で、昼はポリプを伸ばさない。

分布: 奄美以南のサンゴ礁海域に分布するが、あまり多くない。

サンゴ類

5. 造礁サンゴ類



マルキクメイシ

イシサンゴ目 キクメイシ科

Montastrea curta

特徴: 固着性の塊状群体で、隔壁が整然と並んだ円形のポリプの間に、成長初期の小さなポリプが目を出していることが多い。壁は厚めで、隔壁が規則正しく並んでいる。昼は触手を伸ばさない。

分布: 紀伊半島以南の広い海域に分布する。普通にみられる。

サンゴ



コマルキクメイシ

イシサンゴ目 キクメイシ科

Plesiastrea versipora

特徴: 固着性の塊状～被覆状群体で、ポリプは円形や楕円形であり突出せず、規則正しく表面を被っている。色彩は淡褐色や淡緑褐色など変異に富む。昼でもわずかに触手を伸ばしている場合がある。

分布: 房総半島以南の広い海域に分布するが、あまり多くない。

サンゴ



ルリサンゴ

イシサンゴ目 キクメイシ科

Leptastrea purpurea

特徴: 固着性の塊状～被覆状の群体で、やや角ばった多角形のポリプが互いに接して表面を被っている。色彩は褐色や淡黄褐色など変異に富み、壁面頂上が白っぽくなることが多い。昼もわずかに触手を伸ばすことがある。

分布: 房総半島以南の広い海域に分布する普通種。

サンゴ



アラトゲキクメイシ

イシサンゴ目 キクメイシ科

Cyphastrea agassizi

特徴: 固着性の塊状～被覆状の群体で、表面は凹凸があり、周縁も複雑である。ポリプは互いによく離れて配置され、よく発達した隔壁が突出している。色彩は淡褐色や緑褐色など変異に富む。昼はほとんど触手を伸ばさない。

分布: 奄美以南のサンゴ礁海域に分布するが、多くない。

サンゴ

5. 造礁サンゴ類



タイヨウリュウキュウキッカサンゴ サンゴ

イシサンゴ目 キクメイシ科

Echinopora pacificus

特徴: 固着性の被覆状群体で、周縁部が葉状に張り出す。表面は複雑な凹凸があり、丸みのある大きなポリブが突出してさまざまな向きで並び、色彩は黄褐色が多いが、ピンクがかかったものなど変異に富む。昼は触手を伸ばさない。

分布: 奄美以南のサンゴ礁海域に分布するが、あまり多くない。



オオスリパチサンゴ サンゴ

イシサンゴ目 キサンゴ科

Turbinaria peltata

特徴: 固着性の厚い一枚板のテーブル状か、複雑に褶状に曲がった群体で、時に柱状の突出部がある。群体は頑丈で、円形のサンゴ個体は大きい。色彩は褐色やはいいろで、昼も触手を伸ばしていることが多い。

分布: 紀伊半島以南の海域に広く分布する。沖縄では多くない。



ツツスリパチサンゴ サンゴ

イシサンゴ目 キサンゴ科

Turbinaria irregularis

特徴: 固着性の被覆状のサンゴで、群体は部分的に盛り上がったリ、葉状に伸びて不規則で複雑な型になる。サンゴ個体は長く突出することが多い。色彩は褐色が多く、昼でもわずかに触手を伸ばすことがある。

分布: 紀伊半島以南の海域に広く分布する。やや普通にみられる。



イタアナサンゴモドキ サンゴ

アナサンゴモドキ目 ミレボラ科

Millepora platyphylla

特徴: 固着性の大きな群落で、岩盤を被覆し、板状または葉状に大きく突出する。突出部の縁は色が淡くなる。小さな穴が群体表面を密に被っている。昼でも毛のような微小なポリブが、伸びていることがある。

分布: 琉球列島以南のサンゴ礁海域に分布する普通種。